

日本サッカーに ルネサンスは起こるか？ (1)

枚方FC 近江 達

スペイン・ワールド・カップはイタリアの優勝でその幕を閉じた。日本からも熱心なファンたちが多数スペインへ足を運び、その熱狂的な雰囲気の中でくり広げられたサッカーに陶酔し、いままさながら世界のレベルの高さにショックを受けた。

いったい、いつになったら日本のサッカーも世界に追いつくのだろうか。はたして今の環境のままでよいのだろうか。戦前「サッカー王国兵庫」といわれた勇姿はいまはなく、その再建策や熱気さえも一時よりはさめてきたようだ。

今月から約3回にわたって雑誌サッカー・ジャーナル創刊号に掲載された枚方FC近江達氏の随想をお送りします。日本サッカーのルネサンスを神戸から興すことはできないだろうか。また、その必要性はあるだろうか。

プロローグ

中世の欧州は貴族によって統治され、固定された身分的秩序の中で思想、行動、生活、すべてが宗教や因習、道徳などで頑固に統制され形式的権威が社会を支配、運行していた。

十三世紀末から十五世紀末にかけて（日本では北条幕府から蒙古襲来、南北朝、足利幕府の時代に当たる）、この中世社会にこれまでの類型主義や重苦しい伝統主義を打破して、個人の力量や才能によって率直に美を求め、自然と人間を観察し直して新しい可能性を発見し、人間性や個性を解放しようとする芸術上、学問上の革新運動が起った。

この明るい新風はイタリアから、やがて全欧州に波及した。芸術、学問だけでなく、政治宗教などにも広く影響し、精神革命をもたらし神中心の拘束された中世文化から個人の真実の心の動きのまま思う存分自由奔放に生きようとする現世的な人間中心の近代文化へと変っていった。

これがルネサンス、いわゆる文芸復興である。

かつて東京オリンピックからメキシコ・オリンピックにかけて日本代表チームを育てた恩師、クラマー氏（西独）は、当時の日本サッカーの欠陥を指摘した中で、「日本のコーチは石器時代のコーチだ」とまで酷評したことがあった。

幸い彼の卓越した指導啓蒙によって、われわれは近代サッカーを知ることができた。その後、近代化のために必要不可欠なコーチ制度も確立され、徐々にではあるが、日本サッカーは進歩しつつある。喜ばしいことである。

だが「現在の日本サッカーが、真の近代サ

ッカーであるかどうか、改めてよく見直してみると、残念だが、まことに疑わしいと言わざるを得ない。

サッカー界には——いや、日本のスポーツ全体がそうなのだが——相変わらず類型主義や重々しい権威主義がスモッグのように立ち込めている。近代化はされつつあるとしても、およそ表層だけにすぎない。曖昧で散発的、かつ末梢的で、核心となるべき人間性、個性の解放や才能の自由奔放な発揮にいたってはほとんど実現されていない。

夜明けは遠い。まだ、ルネサンスは起っていないのである。

楽観主義と非観主義は

幸せなバカと不幸なバカだ

——ウールリッチ——

世界を見渡すと

日本と欧米のスポーツを比べると、いろいろな面で随分違いがある。

たとえば、今日スポーツの高度化と大衆化は世界的傾向であるとされている。日本でもそんな感じがしないでもない。だが、本場というかスポーツの盛んな欧米に比べればとても問題にならない。

考えてみれば当然かもしれない。力自慢、のど自慢、人は誰でも自分の長所美点を発揮することが楽しく快い。だからそういうことには自然熱中する。

欧米人のスポーツ愛好にしても、もとはといえば、やはり彼らの恵まれた肉体や体力、優れた駆け引きなどの才能を、思う存分発揮して活動する面白さとか喜びに魅惑されたからにちがいない。「スポーツが健全な心身……」などといった理屈はあとからつけたに決っている。

何といっても、本能に即した、というと語弊があるのでいいかえると、人間が生物のひとつに過ぎない以上、自然に即したものは伸びる（簡単だがきわめて大事なこの原理をわれわれはもっと率直に認識して重視し、万事に応用すべきだ、とつくづく思う）。

欧米では、技術、記録の向上もさることながらスポーツの社会的地位が高く、今ではスポーツは人々の生活と社会に必要な不可欠なものになっている。スポーツ振興を政策にしている国さえ珍しくない。

政策といってもわが国の選挙公約とは違う。ご承知の方も多いだろうが西独の黄金計画などは巨費を投じ、15年以上かけて国中に誰でも気軽に利用できるスポーツ施設を作る、という壮大なものである。

当然、クラブやスポーツセンター、グラウンドなども多い。選手育成を目的としてい

天才佐々木博和（現・松下電器）を生んだ枚方FCの創設者にして監督である近江達氏は技術や指導の第一人者であるばかりでなく、サッカーというスポーツの裏面にある文化背景をも深く探求している。その論旨は日本サッカー界、否、日本社会の弱点にまで筆鋒鋭く切り込み、本質に迫っており、信奉者も多い。今回のテーマは「日本サッカーにルネサンスは起こるか？」日本サッカーの発展のためにはルネサンスにも匹敵する人間性の解放が必要であると、喝破する。

いケンブリッジ大学でさえ、サッカー場20、ラグビー場12という。ロンドン郊外だったか、一か所に百以上サッカー場が並んでいるところがあるそうだし、メキシコにも60以上のがある。むろん有給の専任コーチも多い。

信じられないことだ。どこからどうしてそんな金が出てくるのか、いつも不思議でならないのだが、民主主義国でもこれだけのことができるのである。というのも、一般国民生活におけるスポーツの日常的必要性や価値があらゆる階層の人々に十分理解され支持されているからであろう。だからますますスポーツが盛大になり、レベルも向上していく。羨ましかぎりである。

自由主義国でさえ然り。共産圏は言うまでもない。そこでは、選手たちは国威を發揚し国民の士気を高める第二の兵士であり、外交使節にもなる。それだけではいけない。同時に、大衆に娯楽と情熱やうつつのはけ口を提供し、少年たちに華やかな夢を与える英雄であり、紛れもないタレントたちなのである。

それだけに、スポーツの地位は西欧よりさらに高い。芸術、学問などのそれと並んで全国に張りめぐらされた組織網が、将来性のありそうな子供をどんどん発掘して、英才教育でステートプロに仕込み、功績をあげた者には国家功労者などの称号や年金を与え優遇する。そんなシステムが永久活動を続けているのだから、日本など足もとにも及ばない。

スポーツ後進地域のアジアでも、何かにつけてソ連と張り合う中国は、一万を超える業余学校（体育専門）の活躍によってすでに大きな脅威を与えている。北朝鮮に対して常時臨戦体制にある韓国もまた、代表選手に年金を与えるなどスポーツ界を鼓舞し、サッカー代表チームの如きはほぼ一年中ぶつ通しで合宿を続け、報道管制を敷くことさえある。ただただ恐れ入るほかない。

世の中、万事、発展向上には生まれるべき所に生まれるべくして生まれる。奇跡など実際はあり得ない。こうして、広々とした裾野まで社会や政府から暖かい支援の陽光を浴びている国々を見てくると、宣伝されるスポーツの高度化、大衆化は、むしろ当然の成り行きという気さえしてくる。（つづく）

神戸市社会人運営会議予定 次回 10月14日(木)

11月18日、12月16日、1月20日、
2月17日、3月17日、

いずれも木曜日、18時30分から王子登
出研修所。社会人リーグに参加してい
る各チームの代表者が必ず一人出席し
て下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。

〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 078-232-0753
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は
割引がありますのでご連絡ください。

1982 9月号

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎ (078) 232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎ (078) 861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円



ユ・ハイム



第37回国民体育大会 島根くにびき国体

10月3日より島根県益田市で行われる第37回くにびき国体の近畿地区（2府4県）予選は、本年より「ミニ国体」の名称で他競技とともに同時期に開催されることになり、今年は和歌山県で実施された。

少年の部とアベック出場 成人の部とアベック出場

▷第1戦

兵庫県 1 { 0-0 / 1-0 } 0 滋賀県

Bグループ第1戦で強豪滋賀県選抜と対戦した。昨年びわこ国対で地元の意地を見せ3位となった滋賀県選抜は、今年も強力チーム。近畿高校選手権大会でも滋賀県代表の守山、比叡山が一、二位を独占し、鹿児島インターハイでは守山が三位となる活躍ぶり、これらの選手を中心にした滋賀県との対戦は苦戦が予想された。しかし、今年の兵庫県選抜は第2回全国中学生選抜大会で優勝経験を持つチーム。石田(小野)、上谷(伊丹北)を中心にしたバックスの守りは堅実で、しかも中盤の和田(御影)、井上(神戸FC)、トップの永島(御影工)ら全国的なレベルでも活躍できる選手のコンビネーションがうまくとれていて、滋賀を上回る好プレーを見せた。

前半立ち上がりから優勢に攻めながらチャンスを物にできず0-0で前半を終った。後半9分、GKからの長いキックを永島が相手バックスと競り勝ってゴール前に持ち込

ゼロックス

スーパー・サッカー神戸で開催

と き 57年11月7日(日)

ところ 神戸市立中央球技場

12:30 キックオフ

全日本ジュニア代表 対 ロシア共和国
ソ連選抜

14:30 キックオフ

全日本代表 対 コスモス

入 場 料		
種 類	前 売	当 日
S 席 (指定)	3,000円	3,000円
A 席 (自由)	1,500円	2,000円
B 席 (立席)	800円	1,000円
中高生券 (B席)	500円	
小学生券 (B席)	300円	

切符は9月20日より市内プレーガイド
ほかで発売します。

少年の部 近畿予選一位で通過！

強豪滋賀選抜に攻め勝つ



◀ミニ国体で優勝し、本大会へ自信をつけた
兵庫県少年選抜

んで相手GKと一対一となり軽く頭越しのシュートを決めて決勝点を上げた。その後も再三チャンスはあったが、追加点をうばうことはできず、終了数分前からは勝ちを意識してか動きが悪くなり、二度ばかりピンチを迎えたが相手のミスやバックスの好カバーで一点を守り切った。

▷第2戦

兵庫県 4 { 3-0 / 1-0 } 0 和歌山県

第1戦終了後1時間と和歌山と対戦する不利な組み合わせにもかかわらず兵庫県選抜は前半から好調に得点を重ね、前半だけで3点をあげて勝利を決定づけた。後半立ち入り17秒には4点目を上げ4-0の圧勝で一次リーグを2勝し、1位で通過した。

▷決勝

兵庫県 2 { 0-0 / 2-0 } 0 大阪府

21日はAグループ1位の大阪府選抜と対戦し、後半大阪の反則でPKを得て井上が決めて先行。さらに25分、和田が見事なドリブル・シュートを決めて2-0と快勝、近畿地区予選で1位の成績を収めた。

今年の兵庫県選抜は組み合わせに恵まれれば本大会でもベスト4以上の成績を収める力を十分備えており9月以降の練習会でさらに

調整しベストの状態で臨みたい。
監督 一北四郎

(第37回国民体育大会少年の部代表選手)
【監督】一北四郎 【コーチ】森田哲哉
【GK】石末龍治(伊丹北3) 松原慶憲(福崎2) 【DF】石田明豊(小野3) 上谷等(伊丹北) 小林公平(市西宮3) 溝畑哲朗(神戸FC2) 跡上良二(御影工2) 【MF】井上教文(神戸FC3) 和田昌裕(御影3) 関博史(北須磨3) 辻勝憲(御影工2) 大迫欽也(尼崎北2) 【FW】堤 康(六甲3) 永島昭浩(御影工3) 赤松和洋(御影3) 山本雅彦(六甲2) 以上16人

成年の部も

奈良を下し本大会へ

成年の部の近畿地区予選は8月22日、代表決定戦を奈良県選抜と対戦し、1-0で勝って本大会出場を決めた。

兵庫県選抜は関西社会人リーグの兵庫教員と三菱神戸、大日電線、大阪ガスの選手で編成した。前半5分H B前田からのパスをFW岸井が見事なボレーで決めて先行した。前半終了直前と後半の2度PKのチャンスを得たが2度とも失敗するという甘いゲーム運びであったが、奈良はそれ以上に単調で1-0ながら楽勝であった。

成年の部へ兵庫県が出場するのは2年振りで、少年の部とともに出場するのは二十年の間では初めての快挙である。両チームの活躍いかんでは天皇杯得点でも上位進出の可能性も出てきた。

(第37回国民体育大会成年の部代表選手)
【監督】岡本隆英 【GK】松岡泰典(三菱) 福山嘉夫(兵教員) 【DF】西田正雄(大日) 八木重光(兵教員) 山本伸吾(兵教員) 漆邦三(大阪ガス) 平井隆晴(三菱) 【MF】水野修(兵教員) 前田正司(三菱) 桜木浩二(兵教員) 石川一弥(兵教員) 【FW】林啓太(兵教員) 北川雅史(双和ク) 岸井謙児(兵教員) 山田仁彦(兵教員) 以上15人。

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(821)8449
阪神御影駅南側西へ30m

灘スポーツ

灘区倉石通5丁目1-8 ☎078(861)4671
市バス水道筋6丁目上がる100m 東側

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5 ☎078(576)0870
バンドウ化学南

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ、トーアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック、センター街 ☎078(332)0141

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

オウビ

中央区琴緒町4-4-5 ☎078(242)3667
国鉄三宮駅北側神戸理髪専門学校斜め前(田上ビル1階)

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

マヤスポーツハウス

灘区森後町1丁目8-8 ☎078(841)8811
国鉄六甲道駅北 兵庫信用金庫六甲支店山側

ヤノ運動用品

本 店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

